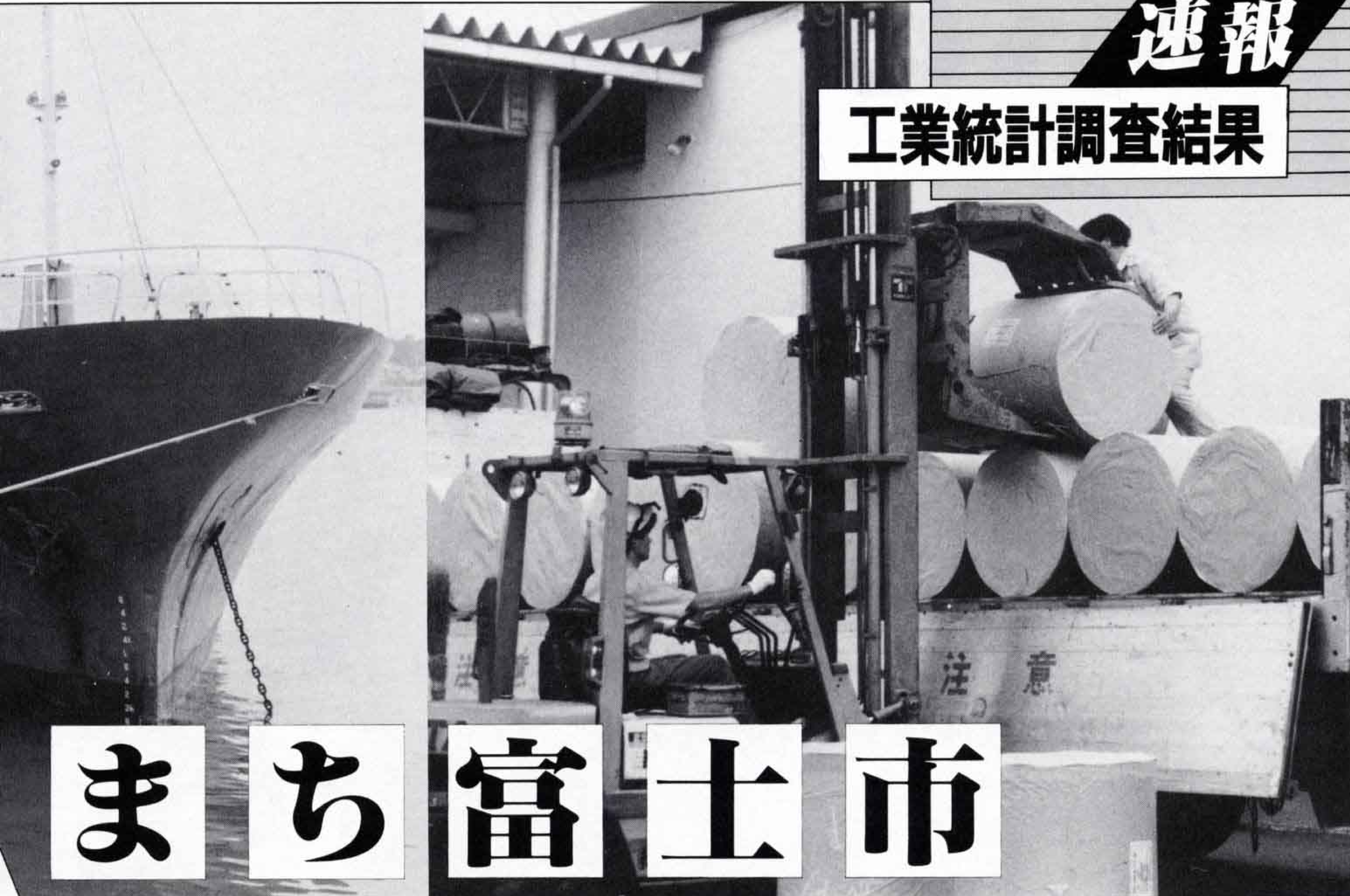


速報

工業統計調査結果



ま ち 富 士 市

工業製造品出荷額等は1兆4,669億円

「昭和六十二年工業統計調査」の調査結果の概要がまとまりましたのでお知らせします。今回の調査は、昭和六十二年十二月三十一日現在で実施したもので、従業者数四人以上の事業所を対象としました。

工業都市としてのバロメーターである製造品出荷額等は、一兆四千六百六十九億二千三百七十万円で、昨年と同様、浜松市に次いで県下第二位でした。なお、調査結果の詳細については、後日「富士市工業統計調査結果書」として公表する予定です。

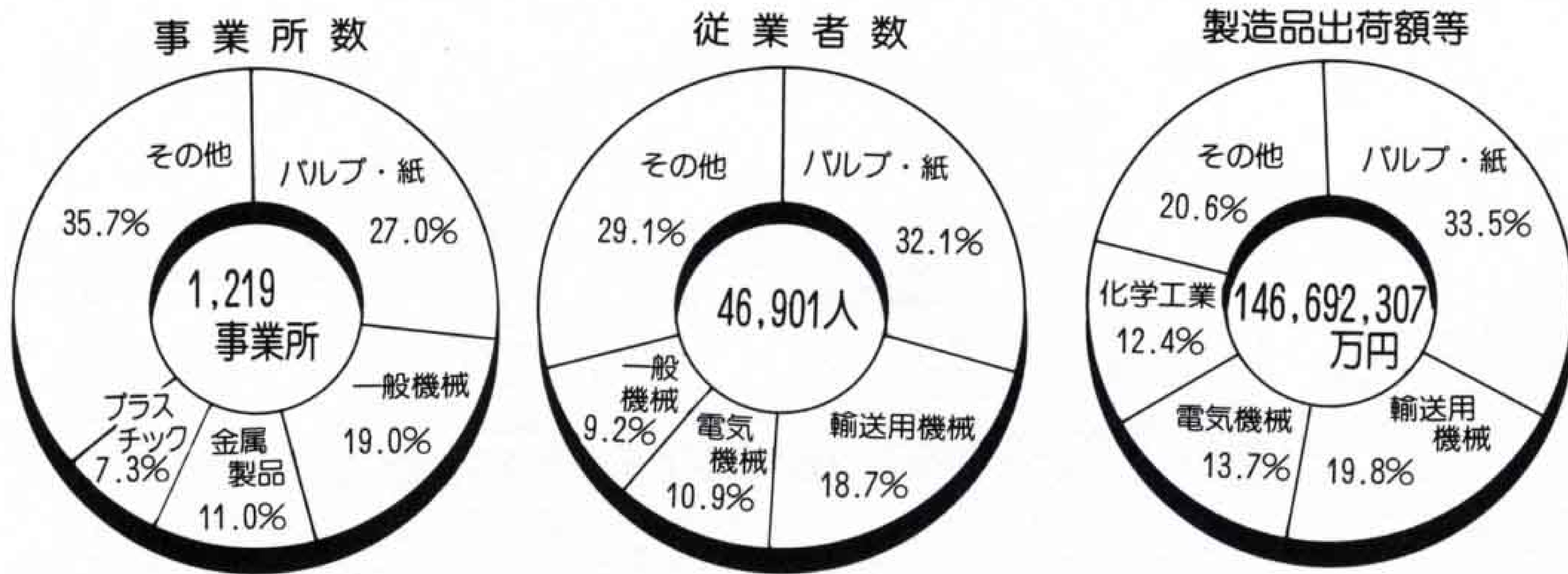
出荷額は県下二位

昭和六十二年十二月三十一日現在（四人以上の事業所）の本市の製造事業所数は、千二百十九事業所、従業者数は、四万六千九百一人、製造品出荷額等は、一兆四千六百六十九億二千三百七十万円でした。

これを前年と比較すると、事業所数で三十五事業所（二・八％）の減少、従業者数は十八人の微増でした。また、製造品出荷額等は、四百億八千七百九十七万円で二・八％の増でした。

このうち、重化学工業の製造業

に占める割合は、事業所数四五・五％、従業者数五四・五％、製造品出荷額等で五六・七％と重化学工業の占める割合が大きくなっています。また、県下上位五市までの製造品出荷額等と比較すると、浜松市の一兆六千四百二十億円が第一位で、県下の総製造品出荷額等の一二・七％を占め、次いで富士市一兆四千六百六十九億円（一・四％）、清水市九千二百億円（七・〇％）、静岡市八千六百五十八億円（六・七％）、磐田市八千三百四十四億円（六・五％）の順となっており、上位五市で県全体の製造品出荷額の四四・三％を占めました。

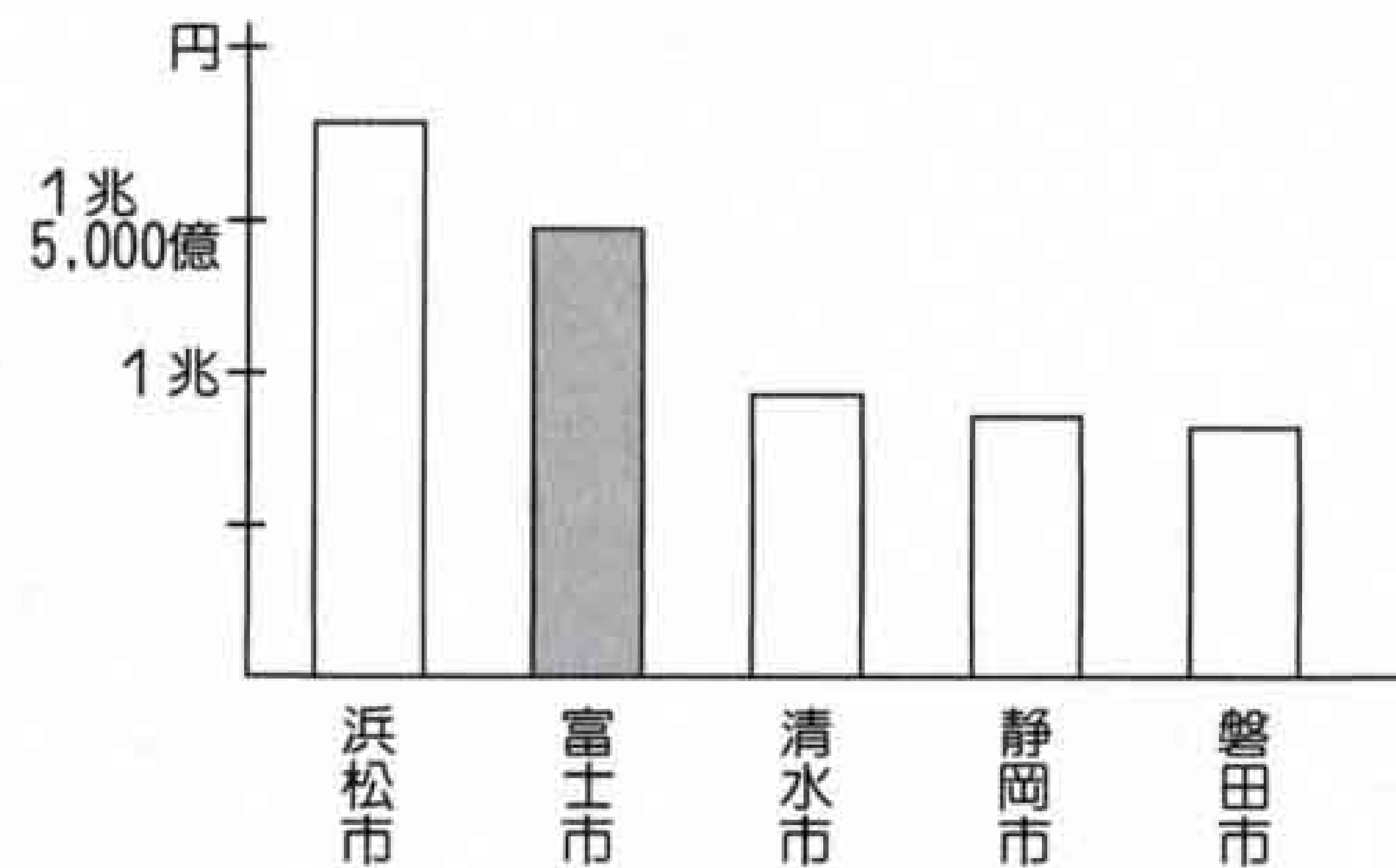


昭和62年 富士市の産業別、事業所数、
従業者数、製造品出荷額等
(4人以上の事業所)

昭和62年12月31日現在

産業中分類 (*重化学工業)	事業所数		従業者数(人)		製造品出荷額等(万円)	
	62年	構成比(%)	62年	構成比(%)	62年	構成比(%)
総数	1,219	100.0	46,901	100.0	146,692,307	100.0
軽工業計	664	54.5	21,341	45.5	63,483,422	43.3
重化学工業計	555	45.5	25,560	54.5	83,208,885	56.7
食料品	56	4.6	1,458	3.1	4,682,410	3.2
飲料・飼料・たばこ	15	1.2	253	0.5	1,937,193	1.3
繊維工業	27	2.2	426	0.9	366,960	0.3
衣服	5	0.4	72	0.2	71,164	0.1
ゴム製品	2	0.2				
木材・木製品	43	3.5	449	1.0	510,451	0.4
家具・装備品	27	2.2	201	0.4	182,117	0.1
パルプ・紙	329	27.0	15,027	32.1	49,172,640	33.5
出版・印刷	43	3.5	572	1.2	790,114	0.5
*化学工業	18	1.5	3,765	8.0	18,231,379	12.4
*石油・石炭	3	0.2	29	0.1	191,943	0.1
プラスチック	89	7.3	2,449	5.2	4,738,502	3.2
窯業・土石	20	1.6	375	0.8	972,121	0.7
*鉄鋼業	20	1.7	528	1.1	3,525,957	2.4
*非鉄金属	11	0.9	91	0.2	318,120	0.2
*金属製品	134	11.0	2,697	5.7	4,478,216	3.0
*一般機械	231	19.0	4,294	9.2	7,272,825	5.0
*電気機械	70	5.8	5,134	10.9	20,076,052	13.7
*輸送用機械	59	4.8	8,759	18.7	29,015,263	19.8
精密機械	9	0.7	263	0.6	99,130	0.1
その他	8	0.7	59	0.1	59,750	0.0

県下市別製造品出荷額等
(従業者4人以上の事業所)



産 業 の

昭和 62年

産業別出荷額等 トップは紙・パルプ

製造品出荷額等を産業別で見ると、パルプ・紙が四千九百十七億二千六百四十万円でトップ。以下、輸送用機械二千九百一億五千二百六十三万円、電気機械二千七億六千五百二十二万円、化学工業千八百二十三億千三百七十九万円の順となっています。

前年に比べ、増加した産業は、輸送用機械二百九十六億千四百万円、電気機械七十三億三千三百三十一万円、化学工業三十四億三千五百八十二万円、一般機械二十七億七千六百八万円などで、特に輸送用機械は一一・四%の伸びです。一方、減少した産業は、パルプ・

紙五十七億六千九百六十一万円、鉄鋼業八億二千七百六十五万円、食料品八億千三百八十二万円などです。

事業所数

事業所数は千二百十九事業所で前年より三十五事業所減少しました。産業別に見ると、パルプ・紙が三百二十九事業所で最も多く、以下、一般機械二百三十一事業所、金属製品百三十四事業所の順でした。前年に比べ、増加した事業所は輸送用機械三事業所、窯業・土石三事業所など微増にとどまっています。

従業者数

従業者数は、四万六千九百一十一人で前年より十八人の微増でした。産業別では、パルプ・紙一万五千二十七人、輸送用機械八千七百五十九人、電気機械五千三百三十四人、一般機械四千二百九十四人の順でした。前年に比べて増加した産業は、パルプ・紙百二十九人、金属製品九十三人、化学工業、電気機械の各六十人などでした。一方減少した産業は、一般機械百六十九人、プラスチック製品五十四人、輸送用機械五十一人などでした。